

# 会告

- 平成 29 年度各賞受賞候補者の推薦について
- 「溶接高温割れ発生予測評価指標の導出に向けた問題抽出とその評価方法の統一化」ミニ研究会 会員募集
- 「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の活用」アドホック研究会 会員募集
- 平成 30 年度会費の口座引落日のお知らせ及び会費自動振替制度ご利用のお願い
- 溶接学会誌、全国大会講演概要集 J-STAGE 電子版の一般公開制限について
- 学生会員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- 溶接学会主催行事予定について
- 平成 30 年度春季全国大会講演申込 受付方法について
- 平成 30 年度春季全国大会「研究発表」講演募集
- 平成 30 年度春季全国大会オーガナイズドセッションの募集
- WEB 掲載の溶接学会論文集 35 巻（平成 29 年度）の印刷物の購入について
- Express 論文投稿の受付開始について
- Welding Letters の創刊について

## 平成29年度各賞受賞候補者の推薦について

下記により平成 29 年度 佐々木賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞、溶接学会技術貢献賞、妹島賞の各受賞候補者を募集いたしますので、適格者がございましたら、所定の推薦書（本会 HP より入手下さい）によりご推薦下さいませようお願いいたします。

項目	佐々木賞	田中亀久人賞	溶接学会業績賞	溶接学会技術貢献賞	妹島賞
授賞対象	多年にわたり溶接技術の開発または応用・普及に関し、その業績顕著なもの及び溶接技術について後進の教育指導、育成の業績顕著なもの。	ガス炎を利用した溶接・切断、工作等及び溶接技術全般に関し研究開発並びに実用化についてその業績顕著なもの。	溶接の学術に関する各部門において優秀な業績を挙げたもの。	溶接技術の開発または応用普及に中核的な役割を果たし、その業績顕著なもの及び溶接技術について若手技術者への教育・指導・育成の業績顕著なもの。	溶接プロセス（ハード及びソフト）に関する技術開発並びにその応用に尽力し、生産（製造）分野で多大な貢献のあったもの（個人又は団体）。
候補者資格	本会会員	本会会員に限らない			
推薦者資格	本会会員				
推薦手続	次の事項を記載した文書（所定の書式）6部を学会長宛（溶接学会事務局）に提出する。 イ. 候補者の氏名、職業・勤務先・役職名 ロ. 候補者の略歴 ハ. 賞を受けんとする業績の詳細（裏付となる資料を添付） ニ. 推薦者の氏名、連絡先 溶接学会業績賞については、賞を受けんとする該当分野とそこでの学術に関する業績の詳細及び該当分野に関する論文リストを添付する。溶接学会技術貢献賞については、賞を受けんとする業績の詳細を添付する。				
推薦書提出期限	平成 29 年 12 月 31 日			平成 30 年 1 月 31 日	
授賞年月日	平成 30 年 4 月 25 日（第 86 回通常総会）				
その他	多年にわたる業績をお考え下さい。年齢に制限はありませんが、溶接に通算 15 年以上関与したことを原則とします。また、その業績には公的な活動が含まれていることが望ましい。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。	佐々木賞が多年にわたる業績（功労）を対象とするのに対し、本賞はある時期に示された優れた業績を対象とします。特許資料、公刊誌への発表・紹介など、業績を裏付けるための十分な資料を添付して下さい。	第1部門：溶接・接合、熱加工プロセス及び機器 第2部門：制御、システムの工学・技術及び組立実装技術 第3部門：材料及び溶接・接合性 第4部門：材料・製品の強度・破壊と設計 第5部門：施工・管理及び品質保証・品質管理 第6部門：新領域・境界技術	佐々木賞と同様、開発並びに技術普及・教育等の活動を含めて複数の業績があり、年齢は 45 才以下であることを原則とします。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。 ※受賞時には、本会会員であることが必要です。	故 妹島五彦君による寄贈基金で運用されており、妹島君が活躍された溶接プロセス分野の業績をお考え下さい。



## 「溶接高温割れ発生予測評価指標の導出に向けた問題抽出とその評価方法の統一化」 ミニ研究会 会員募集

### 1. 趣旨

溶接時の高温割れ発生は、機械構造物の製造において大きな問題となることがしばしばあり、割れ発生時の温度やひずみなど普遍的な物理量を用いた設計段階からの予測・発生防止が極めて重要となっています。

溶接高温割れ感受性は、これまでに多くの試験によって評価されており、なかでもバレストレイン試験は、これまでに最も広く用いられてきました。しかし、本試験の方法や評価法は、AWS B4.0にて試験法が規定されているものの、ロンジ試験のみの規定であり、一方でJISでは規格化されていないために、詳細な実験方法や割れの測定方法は研究者に強く依存しています。そのため、従来の知見や他の研究者との結果を比較検討するには、測定方法の詳細まで遡って検討する必要があり、複数の研究報告を直接比較するには困難を極め、同一の研究者・グループによる材料種（化学組成）や溶接条件についての単なる比較評価に留まることが多いのが現状です。加えて、近年では異材溶接やレーザー溶接の適用等、材料や溶接方法の多様化が進められているため、統一的な試験・評価方法の確立や普遍的な指標を基にした溶接高温割れ感受性評価は極めて重要となっています。本研究会では、従来より高温割れ感受性評価に広く用いられてきたバレストレイン試験に焦点を当て、本試験の統一的な実施方法ならびに評価法を構築するとともに、割れ発生予測に有益に供することが可能な指標の抽出とその導出方法を検討することを目的とします。

### 2. 内容

本研究会では、同一の試験片、条件によりバレストレイン試験を複数の試験機により実施し、各自のバレストレイン実験で得られた結果を基に、研究者間で生ずる実験・測定方法の違いや試験機が得られた結果・割れ発生現象に及ぼす影響を調査します。加えて、FEM等を用いて曲げひずみ負荷時のひずみ分布等の力学的な挙動を調査します。一方でAWS B4.0規格をはじめとしたこ

れまでに実施された試験法の調査を行います。得られた実験ならびに解析計算により得られた結果や文献調査結果をもとに、統一的な試験法、評価法の確立、得られた指標の妥当性の解明を目指します。また、これらを通して、割れ発生予測に有益に供することが可能な新たな指標の導出に向けた問題抽出や今後の課題提起を目指します。

3. 研究期間：2017年9月～2018年8月

### 4. 組織

主査：門井浩太（大阪大学 接合科学研究所）  
副主査：岡野成威（大阪大学 大学院工学研究科）  
委員：阿部大輔（IHI）、佐々正登（日本冶金工業）、  
山下正太郎（大阪大学大学院）

### 5. 参加資格

溶接高温割れ現象やその感受性評価について関心があり、バレストレイン試験をはじめとした高温割れに関する研究の経験を有する方。溶接中や高速・高温での変形などの力学的現象の研究経験を有する方。また、情報交換に積極的に参加でき、当該分野における新規テーマ開拓に強い意欲のある方。ミニ研究会の規定に従い、原則として40歳未満の若手研究者、技術者（産官学）を対象とします。溶接学会会員、賛助員企業の参加はもとより、他学会に所属する研究者、技術者の参加も歓迎します。

### 6. 問合せ・連絡先

氏名、所属、部署、職名、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、専門分野を記載し、下記までEメールにてご連絡ください。

門井浩太（大阪大学 接合科学研究所 准教授）  
E-mail: kadoi@jwri.osaka-u.ac.jp

## 「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の活用」アドホック研究会 会員募集

### 1. 趣 旨

モノづくりにおいては溶接を用いて構造物が組立てられることが多く、性能面、強度面から、溶接構造物の変形・応力予測が重要であることは御存知の通りです。また、これを実現するシミュレーション技術は、近年における計算環境の充実と共に、実用可能なレベルにあると言えます。しかし、溶接シミュレーション技術を社内に導入する際には、シミュレーション手法特有のノウハウが障害となり、十分には活用されていないのが現状です。この点において欧米・アジア諸国に遅れをとる可能性があります。

これを防ぐためには、産学が一体となった「シミュレーション利用技術の普及促進」が急務と考えます。そこで、本ワーキングでは、溶接力学シミュレーションにターゲットを絞り、近年開発が進められている新しいシミュレーション技術を実際に使用し、各種産業分野が抱える実務課題に適用することで問題解決の方法としてのシミュレーション技術の修得を図り、また、それらの基礎理論について理解することを目的とします。なお、本研究会は溶接構造研究委員会に設置された溶接力学シミュレーション研究会が取り組む課題のひとつとして実施されるものです。

### 2. 内 容

平成27年度、平成28年度のアドホック研究会「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」では、多層溶接継手の溶接実験および各種溶接力学シミュレーションソフトを使用して得た計算結果を比較することで、各種溶接力学シミュレーションソフトが有用なツールになり得ることを確認した。(フェーズⅠ) その結果を踏まえ本アドホック研究会では、溶接変形に及ぼす影響因子について詳細に検討を行うと共に、実構造物への展開に向けた溶接力学シミュレーションソフトの活用方法について検討を行う予定である。(フェーズⅡ) 結果がまとまり次第、溶接学会全国大会においてオーガナイズド・セッションを開催し、成果報告を行う予定である。

### 3. 研究期間

平成29年度、平成30年度(平成29年9月～平成31年8月)

### 4. 組 織

主査：柴原正和(大阪府大)

顧問：村川英一(阪大接合研)

幹事：麻 寧緒(阪大接合研)、芹澤 久(阪大接合研)、

中谷光良(日立造船)、中谷祐二郎(東芝)、

猪瀬幸太郎(IHI)、鷹羽新二(橋梁調査会)、

永木勇人(高田機工)

委員：堤 成一郎(阪大接合研)、山田順也(日立造船)、

只野智史(東芝)、上谷佳祐(三菱重工業)、

小川正裕(新日鐵住金)、柳田信義(日立製作所)、

成田 忍(simufact engineering)、安藤知明(ASTOM)、

法川剛二郎(ASTOM)、村山雅智(JFEエンジ)、

上月渉平(JFE スチール)

### 5. 参加資格

・溶接学会員である方が望ましい。

・溶接変形の実験・シミュレーションに積極的に参加頂ける方。

### 6. 申込方法

氏名・所属・部署・職名・連絡先(住所・TEL・FAX・E-mail)

・専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。

主査：柴原正和(大阪府立大学大学院工学研究科、准教授)

E-mail: shibahara@marine.osakafu-u.ac.jp

## 平成30年度会員会費の口座引落日のお知らせ及び会費自動振替制度ご利用のお願い

本会では事務の省力化のため、金融機関預金口座振替システムを利用した「会費自動振替制度」を実施しておりますのでご利用をお願いいたします。会員会費の納入方法を口座引落しされている方の平成30年度会費の口座引落日及び会費は次のとおりです。ご準備くださいますようお願いいたします。

口座引落日：平成29年12月25日(月)

平成30年度正員会費 13,000円

平成30年度学生会費 6,000円

平成30年度賛助員会費 42,000円×口数

未納会費のある方は、平成30年度会費とあわせて引き落としをさせていただきます。

引き落としされますと通帳に「MFS(ヨウセツカイヒ)」(個人会員の会費の略)と記入されます(お取引金融機関により多少異なる場合もあります)。

領収書は経費節減のため発行いたしません。発行を希望される方は、引落とし事務終了後領収書を送付いたしますので、事務局までお申し出ください。

口座引落しについての問い合わせ先：

一般社団法人溶接学会 会員係

TEL 03(5825)4073

引落口座の変更等は10月末日までにご連絡下さい。

## ● 溶接学会誌、全国大会講演概要集J-STAGE電子版の一般公開制限について

学会会員特典をより明確にするために、J-STAGE 電子版の一般公開制限について、溶接学会誌はこれまでの発刊後3年から5年に、全国大会講演概要集はこれまでの全国大会終了後2ヶ月から5年に延長することになりました。その期間は、会員閲覧認証登録された個人会員への限定公開となります。その期間の溶接学会誌、全国大会講演概要集J-STAGE 電子版を閲覧いただくには、「会

員閲覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」(溶接学会 HP 右上)から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。(通常、申請された翌月中旬から閲覧が可能となります。事務局からメールでお知らせいたします。)

## ● 学生買への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について

溶接学会では、ご承知のとおりJ-STAGEによる学会誌、論文集、全国大会概要集の電子版による公開閲覧を鋭意進めて参りました。この度、平成29年4月から学生員については、学会誌の冊子送付を廃止し、J-STAGE 電子版を閲覧いただくことになりました。(平成28年12月19日理事会決議)

溶接学会誌のJ-STAGE 電子版は、会員特典を考慮し、発刊後5年以内は会員限定閲覧で、5年より以前のものは一般公開となります。

したがって、学会誌のJ-STAGE 電子版を閲覧いただくには、「会員閲覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」(溶接学会 HP 右上)から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。

なお、学会誌掲載の会報・会告につきましては、溶接学会 HP にて、閲覧できるようにいたします。

## ● 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、平成27年7月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作(約5～10分)をお願いいたします。

①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン(会員情報等変更の有無にかかわら

ず必ず押してください)

なお、マイページの URL は、[member.jweld.jp/mypage](http://member.jweld.jp/mypage) ですが、溶接学会 HP からログインできます。

**会員番号とパスワードは、大切にお控えください。また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。**

**(マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください)**

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## ● 溶接学会主催行事予定について

溶接学会本部、支部を含め、全国大会、シンポジウム、研究発表会、講演会、講習会、研修会、見学会など溶接学会主催の公開行事の予定を溶接学会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

溶接学会 HP「イベント情報」→「溶接学会主催行事予定」をクリックして下さい。

URL は、<http://www.jweld.jp/event/pdf/event-main-calendar.pdf>

## 平成30年度春季全国大会講演申込 受付方法について

平成30年度春季全国大会での講演を申込される方は、下記の点にご留意の上、お申込み下さいますようお願い申し上げます。

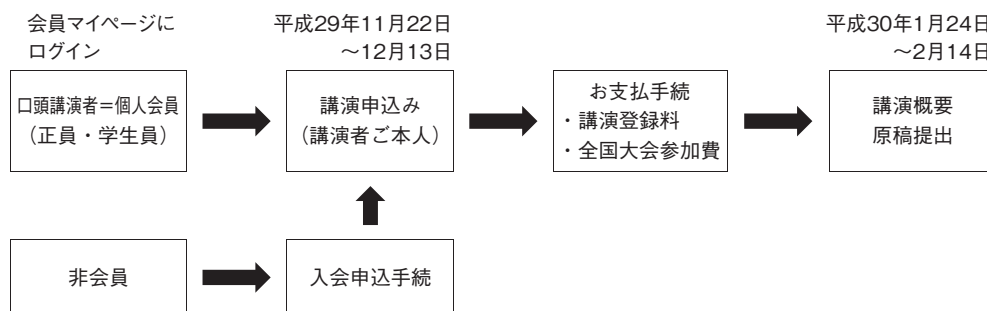
### 平成30年度春季全国大会

- 開催期日 : 平成30年4月24日(火)～26日(木)
- 開催場所 : 東京ビッグサイト(東京都江東区)
- 講演申込期間 : 平成29年11月22日(水)12:00～  
平成29年12月13日(水)14:00
- 原稿(PDF)提出期間 : 平成30年1月24日(水)12:00～  
平成30年2月14日(水)14:00

### 《主なご留意点》

- ・「会員マイページ」を経由して講演をお申込みください。  
講演申込みは講演者ご本人がエントリーしてください。代理者によるお申込みや講演者の変更は出来ません。  
※講演者が非会員の場合  
→ 会員手続き完了後にエントリーしてください。
- ※年会費の未納がある場合  
→ 「会員マイページ」で年会費のお支払い手続きを済ませてからエントリーしてください。
- ・講演登録料(8,000円)＋参加費(正員10,000円, 学生員5,000円)を期日までにお支払いください。  
期日までにお支払いを完了していただくことで講演概要原稿の提出が出来ます。  
なお、支払い期日が過ぎた場合はエントリーをお断りする場合がございます。
- ・講演登録料、参加費のお支払い方法は、クレジットカード・コンビニ決済になります。  
なお、ご入金後の返金はいたしません。

### 《講演申込から原稿提出までの流れ》



## 平成30年度春季全国大会「研究発表」講演募集

平成30年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますので、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなります。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認下さい。

また、原稿締切から概要発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら講演をお断りすることになりますのであらかじめご了承ください。



開催期日：平成30年4月24日(火)、25日(水)、26日(木)

開催場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

### —講演申込募集—

1. 申込期間：平成29年11月22日(水)12:00～  
平成29年12月13日(水)14:00
2. 講演資格：講演者は正員（学生員も認める）でなければなりません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして「**会員マイページ**」を経由して講演申込みをしてください。また、下記講演登録料、大会参加費をご納入ください。なお、年会費の未納がある場合は、「会員マイページ」で年会費のお支払い手続きを済ませてからエントリーしてください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。

◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

(円)

会 員 区 分		講演登録料	大会参加費 (講演概要の閲覧・取得を含む)
個人会員	正 員	8,000円(税込)	10,000円(不課税)
	学生員		5,000円(不課税)
賛 助 員		発表不可	10,000円(不課税)
非 会 員	学生以外	発表不可	20,000円(税 込)
	学 生		10,000円(税 込)

4. 原稿（PDF）提出期間：

平成30年1月24日(水)12:00～平成30年2月14日(水)14:00

5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。
6. 発表時間：講演10分、討論5分
7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。
8. 講演申込の取り消しについて  
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

(注意事項)

- ①講演概要のデジタル化に伴い全ての一般講演は、大会1ヶ月前にWEB公開されます。また、大会終了の2ヶ月後にJ-Stageで公開されます。講演概要への非掲載やJ-Stageでの非公開を希望する講演はいっさい受付いたしません。
- ②上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システムの利用は不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ③原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。  
PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。  
また、原稿提出期間後の原稿差し換えはいっさい受付いたしませんので、提出前にあらかじめ確認してください。

## 平成30年度春季全国大会オーガナイズドセッションの募集

当学会では、全国大会プログラムにオーガナイズドセッションを設けています。オーガナイズドセッションは、オーガナイザーがテーマを定め、そのテーマに関連する一連の研究発表で構成されます。

オーガナイザーは、今話題のホットな溶接・接合研究を始め、溶接学会の枠を飛び越えて、溶接・接合の周辺技術や溶接・接合の未来を切り拓く新しい研究分野、研究プロジェクトの紹介など自由な発想に基づいてテーマ設定が可能です。なお、オーガナイズドセッション内での講演も、他の一般講演と同様に、1件あたり15分（発表：10分、討論：5分）となります。

下記のとおり、オーガナイザーとセッションテーマを募集いたしますので、奮ってご応募下さい。

**開催期日：**平成30年4月24日(火)～4月26日(木)

**開催場所：**東京ビッグサイト（東京都江東区）

### ーオーガナイザーとセッションテーマの募集ー

- 応募期間：**平成29年9月14日(木)～10月17日(火)
- 応募資格：**オーガナイザーは溶接学会員（会員）でなければなりません。セッション内の講演者はその限りではありませんが、できるだけ溶接学会員以外（非会員）の講演者を含め、多様な専門知識を有する研究者・技術者の交流の場となるように配慮下さい。
- 応募方法：**オーガナイザーは応募期間内に下記情報を電子メールにて事務局へ送信下さい。件名は「平成30年度春季全国大会オーガナイズドセッションの提案」として下さい。  
応募情報：オーガナイザー名、セッションテーマ名、セッションの趣旨（200字程度）、予定する講演件数（総数、ならびに非会員からの予定講演件数を明記）  
溶接学会事務局電子メールアドレス：jws-ym@kt.rim.or.jp
- 採択結果の通知：**応募情報に基づいて審議し、採択結果を10月31日(火)までにオーガナイザー宛に連絡いたします。なお、オーガナイズドセッションでの講演も一般講演と同様の方法にて登録いただけます。オーガナイザーはセッションにて講演いただく方に講演登録方法を通知するなどして、締切日までに登録を済ませるように配慮下さい。講演登録方法は「平成30年度春季全国大会『研究発表』講演募集」をご覧ください（平成30年度春季全国大会講演募集

の締め切りは12月13日(水)となっております。

- 登録料：**オーガナイズドセッションの提案に対する課金はありませんが、講演1件当たり既定の講演登録料をお支払い下さい。なお、オーガナイズドセッションに限り、非会員の講演も認められます。
- プログラム：**オーガナイザーは、オーガナイズドセッションのプログラムを編成し、12月6日(水)までに事務局へご報告下さい。なお、オーガナイズドセッションへ登録いただいた講演題目は追ってオーガナイザーへ通知します。

### ー実施方法ー

- テーマ設定：**オーガナイザーがテーマを設定し、上記の方法で応募して下さい。1つのオーガナイズドセッションあたり講演件数は4件以上を目安として下さい。
- 発表時間：**一般講演と同様、1つの講演あたり15分（発表10分、討論5分）です。
- 講演登録方法：**一般講演と同様、「平成30年度春季全国大会『研究発表』講演募集」に従って期日までに登録し、講演登録料をお支払い下さい。なお、登録時には研究分野・分類で「オーガナイズドセッション」を選択下さい。
- プログラム編成：**オーガナイズドセッションのプログラム編成（講演の順序、座長も含む）はオーガナイザーに一任します。編成したプログラムは12月6日(水)までに事務局へご報告下さい（厳守）。
- 大会参加費：**原則として、一般講演と同様の大会参加費をお支払い下さい。なお、非会員かつオーガナイザーからの依頼講演であれば特別に無料とさせていただきます。オーガナイザーからの依頼講演であっても会員は既定の大会参加費をお支払い下さい。

### ーお問い合わせー

溶接学会事務局：松尾（担当）  
〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地  
TEL：03-5825-4073 FAX：03-5825-4331  
e-mail：jws-ym@kt.rim.or.jp

## WEB掲載の溶接学会論文集35巻(平成29年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成29年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

**なお、Special issue of Visual-JW 2016の論文は含みません。**

溶接学会論文集35巻(平成29年度)

価 格：溶接学会会員特価7,500円/年1冊(外税)

送 料：500円(外税)

発行時期：平成30年1月下旬頃

送 付 先：学会誌発送登録先

### 【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成29年11月30日

入金締切：平成29年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社(TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815)へ直接ご注文下さい。

定価 15,500円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成30年3月31日

## Express論文投稿の受付開始について

溶接学会では、溶接学会論文集への論文投稿について、完成度が高く、速やかな掲載が必要な論文に対してExpress投稿を受け付けることといたしました。Express投稿は、原稿受領通知書の著者への送付日から2週間以内に、査読結果を著者に通知するものです。

全国大会での優秀な発表に対してはExpress無料投稿券を発行

しています。また、所定の掲載料(通常投稿の約1.5倍)を納めることでもExpress投稿が可能です。

速やかな掲載を希望される方は是非ともご活用ください。

詳細は、投稿規定(<http://www.jweld.jp/kitei/toukou-kitei.html>)をご確認ください。

## Welding Lettersの創刊について

溶接学会では、基礎・基盤分野、および開発・実用分野で価値があり、速報性が高いと認められた論文をWelding Lettersとして創刊することといたしました。

WEB発刊で、使用言語を英語に限定し、国際的にも価値の高いものとなるよう配慮されております。原稿の長さは、2~4ページとしており、溶接学会論文集に比べて、より速報性を求める

論文を投稿することができます。

本会告をもちまして、Welding Lettersへの投稿の受け付けを開始させていただきます。皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

詳細は、投稿規定(<http://www.jweld.jp/kitei/toukou-kitei.html>)をご確認ください。

### 平成28・29年度編集委員

(委員長) 佐藤 嘉洋 (副委員長) 伊藤 和博

(委員) 青木 篤人, 池田 倫正, 石川 清康, 石崎 圭人, 井上 裕滋, 猪瀬幸太郎, 伊與田宗慶, 尾花 健,  
河西 龍, 門田 圭二, 茅野 林造, 萱森 陽一, 桐原 聡秀, 柴原 正和, 銭谷 哲, 徳永 仁寿,  
中谷 光良, 西川 宏, 藤田 善宏, 富士本博紀, 松田 広志, 三瓶 和久, 宮坂 史和, 森 裕章,  
山本 元道

### 溶接学会誌 第86巻 第7号

平成29年10月1日 印刷

平成29年10月5日 発行

編集兼発行者 石丸 賢二  
東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

印刷者 日本印刷出版株式会社  
大阪市福島区吉野1の2の7

発行所 一般社団法人 溶接学会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

電話 03(5825)4073

FAX 03(5825)4331

振替口座 00180-7-143434 番

ホームページ <http://jweld.jp/>